【事業所名】　足立区さのデイ・サービスセンター

Ⅰ　事業運営の基本方針

|  |
| --- |
| 利用者の安定した在宅生活を支える施設として、地域・医療・社会資源等と連携し、地域包括ケアシステムの一環となるべく幅の広い受入れ体制、地域に根差した施設運営を目指す。  個別ケアの充実のため、一人ひとり有する能力と心身の状態に合わせた居場所つくりを提供すると共に、安定した事業運営を実現するため、人材育成や職場環境つくりを強化する。 |

Ⅱ　中期的目標

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 内容 |
| 1.　多様なニーズに応じた幅の広いサービス提供 | 1. 利用者ニーズを把握する力を強化して多様なニーズに対応し、幅の広いサービス提供できる支援体制を確立する。 2. 専門職としての職員のスキルアップ、人材育成を目指す。 |
| 2.　サービスの質の確保 | 1. 事故分析・苦情相談解決への取り組みからチームケアの向上を目指し、職員間での情報共有、連携体制を強化する。 2. 利用者の自己実現だけでなく、他機関と連携しながら、在宅生活における家族への支援として相談援助を充実させる。 |
| 3.　安定した事業運営、地域貢献 | 1. 地域住民・関連機関との連携、地域ニーズと課題の把握や資源の活用など地域貢献に取り組む。 2. 稼働率向上のため、人材育成カリキュラムによるマンパワーの確保、特色を生かしたプログラムの構築。 |

Ⅲ　年間計画（進行管理表）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 | １２月 | １月 | ２月 | ３月 |
| 年間計画 | 〇利用者サービスへの取組　【毎月：各グループ会議・各種委員会・居宅訪問・事業所訪問営業　　　　随時：パート連絡会・介助員連絡会・サービス担当者会議・ケース会議】  〇職員への取組　【法定研修・法人内研修・施設研修・外部研修・新人研修・スキルアップ講習・事故や課題解決検討　職員健診・予防接種・ストレスチェック　　随時：業務内容見直し・マニュアル更新】  〇地域社会への取組　【地域ボランティアの受け入れ・学生現場実習受け入れ・フレイル予防教室・地域共生デイとの交流・公園や施設訪問など地域資源の活用・保育園や学童との交流会】  〇経営基盤強化への取組　【毎月：運営会議、センター会議、各種委員会、法人内デイ連絡会など】 | | | | | | | | | | | |

Ⅳ　事業の計画

|  |  |
| --- | --- |
| 事業の概要 | 取り組む課題 |
| **１　利用者サービスへの取組** | |
| （１）人権尊重の徹底  利用者一人ひとりのニーズに応じたサービスを提供し、法人理念にもある個人の自己実現や在宅生活の充実を支援する。 | * 1. 在宅生活維持のため生活機能向上を意識したプログラムの工夫      1. 個別機能訓練加算Ⅰの実施。理学療法士が家庭訪問し自宅での課題に沿った訓練の指導を行う。      2. 科学的介護推進加算の推進。日常生活に基づいたプログラムによる個別機能訓練や自立支援により、在宅生活の充実を図る。 |
| （２）苦情解決・相談体制の整備  苦情解決・相談体制のシステムを定着化させ、利用者や地域のニーズに柔軟に対応する。  相談員の体制強化による相談援助の充実を図る。 | * 1. 苦情受付から相談・解決までを円滑に進められるシステムを構築して利用者との信頼関係を強化する。   2. 利用者ニーズの把握、苦情・要望の受け入れなど質の高い相談援助を行うために研修に参加する。（相談員育成等）   3. 地域包括との連携、地域のニーズや課題を踏まえた幅広い相談受入れ体制を強化する。 |
| 1. 事故防止対策   事故発生から対策・改善までのサイクルを確立し、迅速に対応する。  職員の気づきから各自がリスクマネジメントへの意識を高める。 | * + 1. 事故発生から報告、分析・検証、課題抽出までのＰＤＣＡサイクル確立により、課題や問題点の明確化と再発防止に努める。   　② ヒヤリハットの充実。職員間での気づきや意見交換からリスクマネジメントへの意識を高める。 |
| 1. サービスの質の確保   個別ケアを充実させ、利用者一人一人がそれぞれの居場所や心地よい空間作りを目指す。  特色を生かしたプログラムの構築 | ①　アクティビティの充実による個別ニーズに応じたサービス提供をするために、  ア．手作業、習字等個別でも楽しめる選択可能な趣味活動などを提供する。  イ．季節感を生かした活動内容や外買物・外食などの生きがい活動を充実させる。  ②　認知症状に合わせたケアを提供し、安心・快適な在宅生活を支援するために、  　ア．家事などの生活動作を取り入れた活動プログラムにより日常生活動作(ADL)の維持・向上に繋げる。  イ．看護師を中心に地域・医療との連携を図り、専門的医療ケアを確立する。  ウ．家族の負担軽減に向けた心身ケアと個別の課題解決に向けた相談援助を強化する。 |
|  | |
| **２　職員への取組** | |
| 1. 人材の確保・育成・定着   働きやすい職場環境作りと個々のライフスタイルに合わせた働き方を考慮し、幅広い人材の受入から育成・人材確保の定着化を目指す。 | * 1. 職員の経験や能力に応じた目標設定を明確にして人材育成を進める。   2. 短時間職員のライフスタイルに合わせた勤務形態を導入し、人材確保を図る。   3. 職員の指導・育成・支援のフォローアップ、キャリアアップ体制の充実 |
| 1. 人材の活用   不足するマンパワーの充足のため、多様化するライフスタイルに合わせた働き方 | ・　個々のライフスタイルに合わせた働き方の支援をするために、子育て世代の生活に合わせた働き方の提  案と支援を行う。 |
| 1. 職場環境づくり   誰もが働きやすく、充実・達成感を感じ、定着する職場環境づくり | * 1. 職員間での情報共有をシステム化することにより連携体制を強化する。   2. 効率的な業務内容・勤務形態の見直しによる超過勤務の削減など業務改善を図る。   3. 職員及び家族の生活を支援できるような職場環境作り。（ウェルビーイングの向上） |
|  | |
| **３　地域社会への取組** | |
| 1. 地域貢献   地域住民との連携、地域資源の活用から、地域に根差した施設運営を目指す。 | * 1. 関係機関と協働し、地域に根差した施設作りを目指す。   2. 地域福祉の拠点として活動をホームページや広報誌などでＰＲを図る。   3. ボランティア受入、見守り支援など地域との協力体制を強化する。 |
| 1. 災害対応   ＢＣＰ・運営による災害時・緊急時に備えた災害支援体制を強化する。 | * 1. BCP運用とともに定期的な災害想定訓練の実施   2. 複合施設として施設内での協働体制の構築 |
|  | |
| **４　経営基盤強化への取組** |  |
| （１）収入増への取組  利用者のニーズに合わせた個別送迎を強化 | ・　滞在時間が短い時間を希望する利用者のニーズに合わせ、個別送迎を強化し稼働率向上を図る。 |